



特定非営利活動法人 ありんこ

2019年度 事業報告書

[期間：2019年4月1日～2020年3月31日]

はじめに

NPO法人ありんこは、障害のある子供たちが地域の中でつながって育つための環境、居場所づくりのために、設立されました。設立から8年を経過し、その間に障害者福祉の流れも変化してきています。私たちには今後ますます、現在行っている地域の他事業所との連携や、子供たちの通う学校、医療施設などの積極的な情報交換の充実を通して、一人一人の未来を見据えた支援を行うプロ集団となることが求められます。現在の放課後等デイサービスと福祉有償運送の二つの事業を充実させ、学校を卒業した後の障害者が主体的、能動的に社会とかかわりを持って過ごすことができる活動の場所となる生活介護事業所の早期設立に向けて、準備を加速させていきます。

NPO法人の良さを最大限に生かし、情報発信、情報公開にも力を入れ、障害者福祉の啓蒙活動を通して、全国の皆様からのご理解とご支援をいただけるよう、今後とも精一杯努力して参ります。どうぞ引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人ありんこ

理事長 一戸 由佳



事業トピックス

1. 放課後等デイサービス事業

8年目を迎えた放課後等デイサービス事業。個別の支援や集団活動（音楽活動や食育活動）社会的な活動（外出活動やリサイクル活動）な等の充実が図られ、着実な定着が感じられました。また、日々の送迎時や、定期的な面談などを通して保護者の方と思いを共有し、時には悩みを受けとめ、支えています。学校や他の関係機関とも情報共有が図れたと考えています。

年度末に世界的に流行した新型コロナウイルス感染症のため、計画していた多くの行事や活動が自粛となりました。しかし学校の臨時休校中も、日々の清掃、消毒を徹底し、職員の健康管理もしっかりと行い、事業所を閉鎖することなく事業の継続ができました。外出の自粛や三つの密を避けるため、制約が多くなりましたが、その中で出来る限り子どもたちの力を

伸ばす支援ができていたと思います。



2. 赤い羽根共同募金活動

今年度も「やよいのあかり」として、赤い羽根共同募金の街頭募金活動に5度目、5年連続して参加することができました。支援されることが多い子供たちにも誰かのために働く喜びを感じてほし

いと思い、また、全国でたくさんの人たちがこの活動に参加することによって、自分たちにも多くの支援がなされていることを、理解してほしいと思っています。今後でもできる範囲でこの活動を継続し、利用者やその保護者にも理解を深めてもらえる努力をしていきます。募金活動へのご理解とご協力、ありがとうございました。



事業の成果と課題

1. 放課後等デイサービス事業

【趣旨・目標】 肢体不自由児童生徒及びその他の障害児童生徒の成長発達を支援する。

当該地域における肢体不自由児童生徒及びその他の障害児童生徒に必要な個別支援や、集団の中でたくさんの人と関わることを通して豊かな人間性を養い、のびやかな成長を支援する。そのためなるべく多くの人の手と目をかけ、ゆとりのある計画の中で活動できるように配慮してすすめる。

今年度は当該地域との交流、さまざまな事業所や自治体などとの連携を更に深め、ホームページなどでも積極的に情報発信を行い、障害者福祉の啓蒙活動を充実させる。

【今年度実施した取り組み】

放課後等デイサービス

内容について

実施場所	弘前市大字富栄字笹崎80-1
実施日時	平成31年4月1日から令和2年3月31日
従業者の人数	18名（兼務あり）
受益の対象者	当該地域における肢体不自由児童生徒及びその他の障害児童生徒21名
収入	24,740,989円
支出	25,923,901円

【成果と課題】

音楽活動、食育活動、制作活動、芸術、体育的活動など、いろいろな活動を体験することにより、幅広い経験を行うことができたが、年度末の新型コロナウイルス感染拡大により、活動の多くが中止となり残念だった。

2. 福祉有償運送事業

【趣旨・目標】 障害のある子供たちの通学を支援する。

障害のある子供たちの通学を支援し、元気の良い、学校に通える子供たちが保護者等の都合で欠席する日を減らす取り組みを進める。

【今年度実施した取り組み】

通学時などの送迎に加えて、保護者が送迎出来ない場合の施設間の輸送（放課後等デイサービス事業所から短期入所施設など。月別の予定に沿った支援の他、保護者や兄弟の急な体調不良による突発的な送迎も可能な限り受け入れることができた。

内容について記載

実施場所	当該地域（弘前市内を発地または着地とする）
実施日時	平成31年4月1日～令和2年3月31日
参加人数	362人（延べ）
事業の対象者	障害のある児童生徒
収入	234,040円
支出	0円（兼務職員の報酬を含まない）

【成果と課題】 定期的に利用している利用者は昨年同様で増加はない。しかし、児童生徒が高学年になるにつれて、保護者の体調不良など、突発的な利用依頼がこのところ増加傾向にある。今後は突発的な利用に対応する運転手の確保などが事業継続には最重要となる。

3. 病児保育事業

当該地域における障害のある病後児童生徒を学校に登校できるようになるまでサポートする。

主に当該放課後等デイサービスを利用する児童生徒で、病後、学校に登校できるようになるまでの間、日中の居場所とし、保護者が安心して仕事ができるよう支援する。

【今年度実施した取り組み】 病後、他の事業所に通所出来ない利用者の支援を行った。

内容について記載

実施場所	病児保育室かぜのこ (弘前市大字富栄字笹崎80-1)
実施日時	平成31年4月1日～令和2年3月31日
参加人数	0人
事業の対象者	障害のある児童生徒
収入	0円
支出	0円

【成果と課題】 事業の認知度が低く、また、スタッフがボランティアで対応するため、すべてのニーズにこたえることができず、結果として思うような実績を上げることができなかった。

運営について

■ 第8回定時総会

日時	令和元年5月24日（日）
場所	児童デイサービスやよいのあかり施設内（弘前市大字富栄字笹崎80-1）
社員総数	11人
出席者数	11名（うち、会場出席者4名、委任状提出者7名）
内容	第一号議案：平成31年度活動報告審議 第二号議案：平成31年度決算報告審議及び監査報告 第三号議案：令和2年度活動計画及び予算審議 第四号議案：定款変更についての審議 第五号議案：役員変更についての審議
審議結果	第一号議案：満場一致で承認 第二号議案：満場一致で承認 第三号議案：質疑応答ののち原案通り承認 第四号議案：満場一致で承認 第五号議案：満場一致で承認

■理事・監事

理事長 一戸 由佳

副理事長 藤田 公和子

副理事長 高橋 多美子

理事 中路 和子

理事 棟方 良英

監事 長谷川 景一

■会員の状況

正会員： 個人11人

賛助会員：60人

寄付会員：12人